

I 事業の概要

岩泉町の中心部の西に位置する学区は、周囲を山に囲まれ、小本川に注ぐ幾つもの沢がある自然豊かな土地である。学校規模は、極小規模で、今年度末をもって閉校し、岩泉小学校に統合となる。児童の多くは東日本大震災津波の記憶が残っていないが、平成28年の台風10号では、道路が寸断され、一部学区が孤立したことは記憶に新しい。

(1) 事前学習

ア 東日本大震災について

(ア) 『いきる・かかわる・そなえる』での学習

(2) 震災学習列車

(3) 事後学習

ア 個人新聞にまとめ（高学年・校内掲示）

イ 作文を書いてまとめ（低学年）

II 取組の概要

(1) 事前学習

ア 復興教育副

読本「いきる
かかわる そ
なえる」によ

り、東日本大
震災についての理解と「自分の命は自分で守る」
ことの大切さを学習した。



(2) 震災学習列車

ア 全校児童10名と引率者6名が参加し、三陸鉄道岩泉小本駅から陸中野田駅までの区間を乗車した。全校児童は乗車を心待ちにし、運転席に座らせてもらい喜んでいました。

イ 車内でのガイド説明

(ア) 写真パネル：震災前、直後の様子

(イ) 車内消灯体験：トンネル内暗闇体験

(ウ) クイズ：三陸鉄道について、震災について



ウ 久慈三崎半島海岸（車窓）～小袖海女センター

(ア) 海の広さ、道路の高さ、津波の高さなど体感

(イ) 「夫婦岩」の切れなかつたロープ、自然の恩恵、観光について

(ウ) 朝の連続ドラマロケ地について

エ 久慈下諏訪公園見学

(ア) 漁港の様子

(イ) 震災モニュメントの見学

(ウ) 防潮堤の高さ

(エ) 引率職員によるミニガイド

オ 久慈地下水族館もぐらんびあ見学

(ア) 近海の魚、バックヤード見学

(イ) 震災を生き延びたカメキチへのえさやり

(ウ) もぐらんびあの施設の復興について



(3) 事後学習

ア 学習のまとめ

(ア) 学級ごとに振り返り、作文、個人新聞などの取組み

(イ) 復興教育副読本「いきる・かかわる・そなえる」での確認

イ 他教科等での関連学習

(ア) 「変わり続ける大地」（6年理科）

(イ) 「流れる水のはたらき」（5年理科）等

ウ 参加した児童生徒・教職員の感想

(ア) 児童の感想

(個人新聞参照)

(イ) 教職員の感想

・1年生は、自分が生まれる前のできごとなのに、まだその爪あとがあり、現在も復興に向けた工事などが続いていることを知りとても驚いている様子だった。ガイドさんから教わった「津波が来たら高いところへ」、「ふだんの避難訓練を真剣にやること」が印象に残っている様子だった。

・児童は「震災学習」として被害や復興の様子、津波からの避難について真剣に考える

